

コスト反映の遅れが今後の大きな課題

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「原材料価格の上昇」の152社。2位が「需要の停滞」の130社。「従業員の不足」が65社で3位。
- ★ 「コスト上昇分の販売価格やサービス料金への転嫁」について、「5割以上8割未満」が23.7%（59社）で最多。以下「2割未満」が18.5%（46社）、「8割以上」が16.5%（41社）と続く。
- ★ 「物価高騰やエネルギー価格高騰に対する支援策」について、「現状のガソリン補助金の拡大・継続」が132社、「現状の電気・ガス料金負担軽減支援事業の拡大・継続」が126社と、この2つが他の支援策と比べ、より強く望まれている。

令和6年 **10 12**

三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三 次 商 工 会 議 所

令和6年12月に実施した第139回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。
本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が139回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は263社（小売業80社、卸売業27社、製造業36社、建設業60社、運輸・交通業15社、観光・サービス業45社）で回収率は52.6%。

【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲5.3と、3ヶ月前の前回調査から15ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が2.3%、「やや好転」が20.2%で、逆に「やや悪化」が24.7%、「かなり悪化」が3.0%だった。売上D.Iは▲16.9から15ポイント改善し▲1.9、採算D.Iも10.4ポイント改善し▲21.4となった。一方で原材料（商品）仕入価格は73.5と更に上昇した。

今回事業所に対し、「コスト上昇分を販売価格やサービス料金にどの程度転嫁できているか」を尋ねたところ、79.2%の事業所が「多少なりとも転嫁できている」と回答した。その内訳は、「5割以上8割未満」が23.7%で最も高く、「2割未満」が18.5%、「8割以上」が16.5%、「2割以上5割未満」が13.7%と続き、「10割（すべて転嫁）」は6.8%にとどまった。回答事業所が異なるため単純な比較は難しいものの、半年前の同様の調査では、「5割以上8割未満」、「2割以上5割未満」、「2割未満」、「8割以上」、「10割」の順であった。これらの結果から、物価や人件費などの上昇に直面する中、価格転嫁が進んでいる事業所とそうでない事業所の格差が拡大していることが伺える。特に、運輸・交通業と観光・サービス業では価格転嫁が進んでいない。

また、物価高騰やエネルギー価格高騰に対して望む支援策については、現状、国が実施している燃料油価格激変緩和対策（132社）や電気・ガス料金負担軽減支援事業（126社）の継続・拡大を求める声が多かった。企業努力だけでは解決が難しく、特に価格転嫁が進みにくい固定費に対する支援策が強く求められている状況が浮き彫りになった。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) — (悪化割合)

売上DI (増加割合) — (減少割合)

採算DI (好転割合) — (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲5.3。業種別では、小売業を除く5業種で改善。特に、卸売業（▲25.9→3.7）、建設業（▲15.3→1.7）、運輸・交通業（▲23.1→20.0）、観光・サービス業（▲13.6→8.9）の4業種がプラスに転じた。

売上は、全業種合計で今期▲1.9。卸売業（▲25.9→11.1）、運輸・交通業（▲15.4→33.3）、観光・サービス業（▲13.6→8.9）と3業種でプラスに転じた。改善の主な要因は「季節的な増加」と「企業努力」。

原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期73.5と更に上昇。燃料油価格や電気・ガス料金の価格も

採算は、全業種合計で今期▲21.4。業種別では、卸売業（▲33.3→7.4）がプラスに転じ、運輸・交通業（▲30.8→0.0）プラスマイナスゼロとなった。悪化した主な理由として「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」が挙げられ、売上原価の上昇に対し、十分な利益が確保できていない要因が伺える。

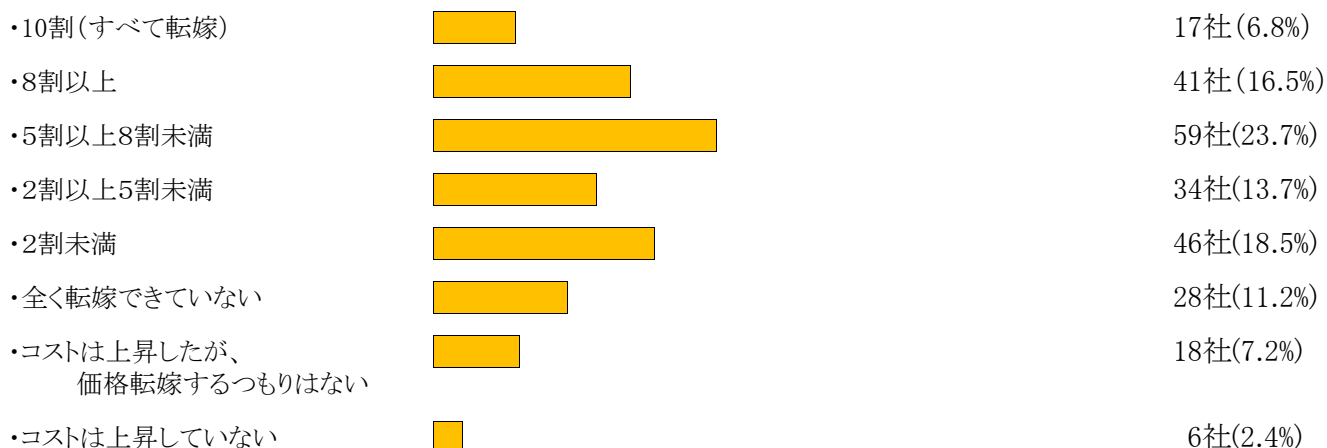
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



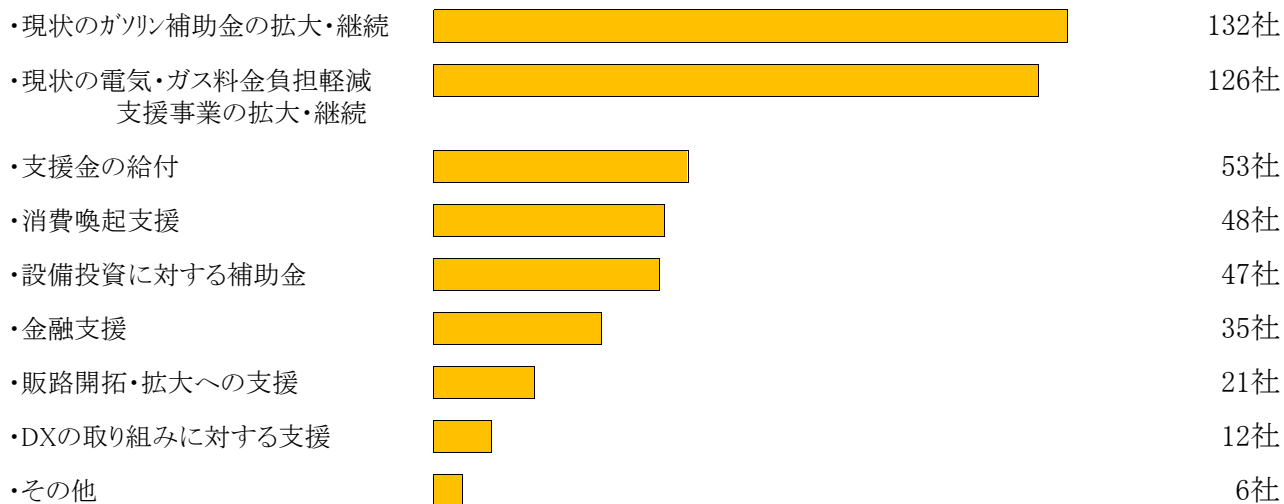
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【貴社の主な商品・サービスにおいて、コスト上昇分を販売価格やサービス料金にどの程度転嫁できていますか？】



【物価高騰やエネルギー価格高騰に対する支援策について、どのような支援を望みますか？】(2つ以内)



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 5.3	▲ 26.3
小売業	▲ 26.3	▲ 24.1
卸売業	3.7	▲ 44.4
製造業	▲ 5.6	▲ 19.4
建設業	1.7	▲ 33.3
運輸・交通	20.0	0.0
サービス業	8.9	▲ 24.4

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 1.9	▲ 25.7
小売業	▲ 11.4	▲ 25.6
卸売業	11.1	▲ 44.4
製造業	▲ 13.9	▲ 19.4
製造業	▲ 5.0	▲ 30.0
運輸・交通	33.3	▲ 6.7
サービス業	8.9	▲ 20.0

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

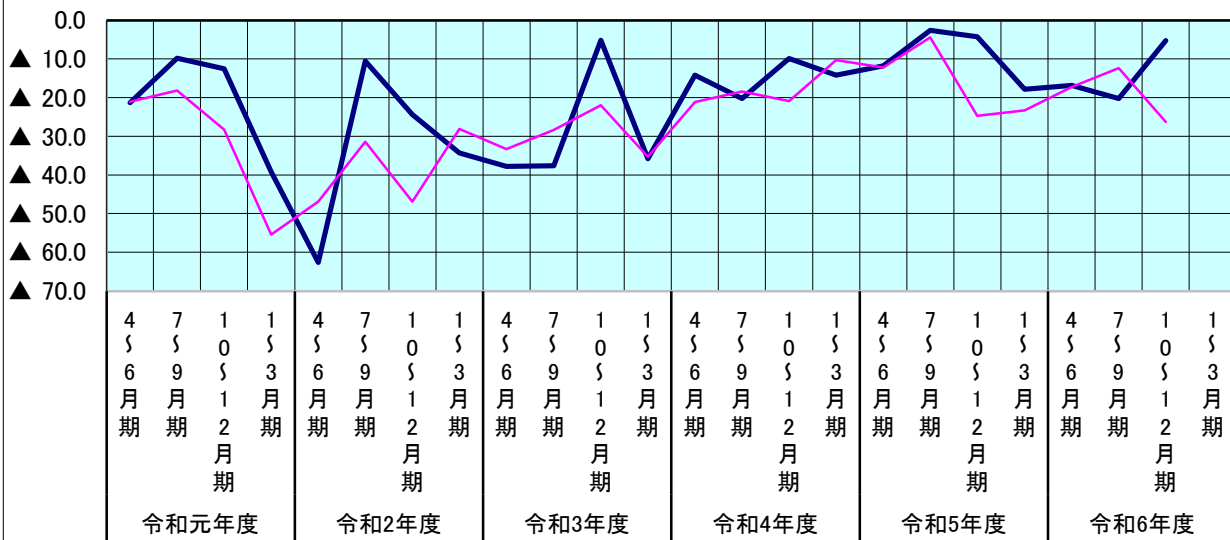
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 21.4	▲ 31.8
小売業	▲ 24.1	▲ 26.9
卸売業	7.4	▲ 33.3
製造業	▲ 33.3	▲ 33.3
製造業	▲ 20.0	▲ 33.3
運輸・交通	0.0	▲ 6.7
サービス業	▲ 33.3	▲ 44.4

(好転割合－悪化割合)

全業種

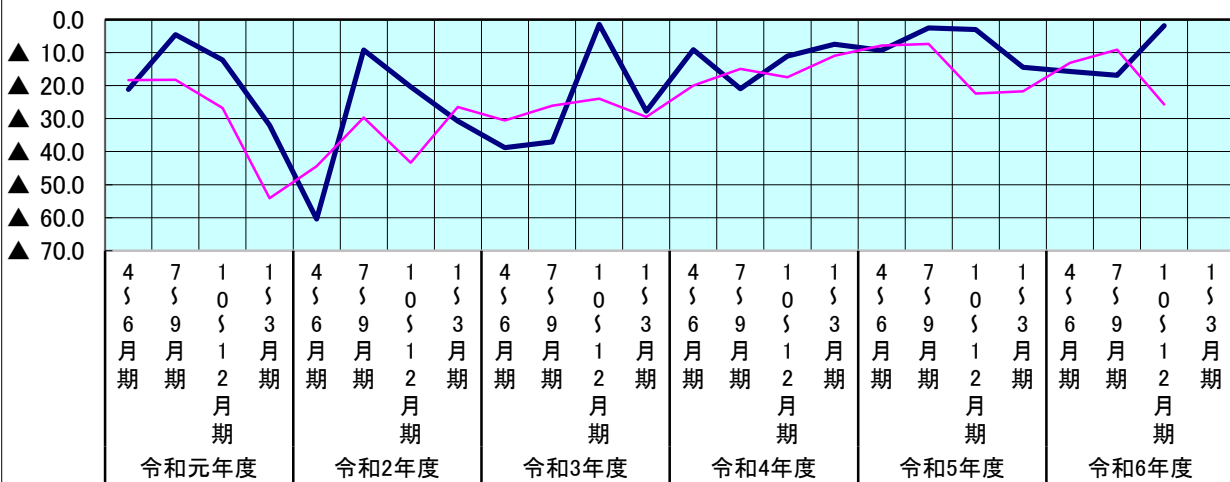
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



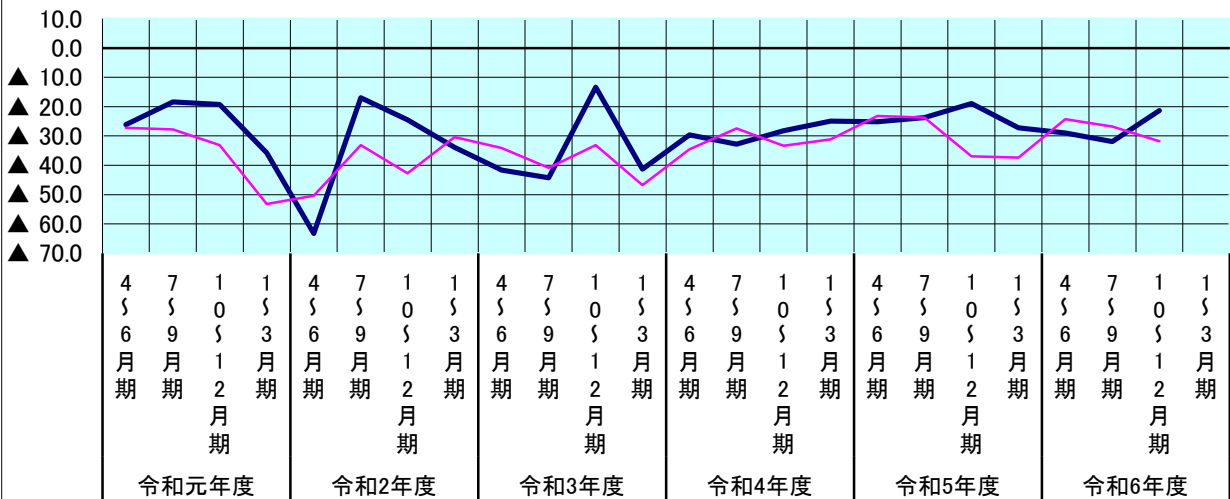
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
運輸・交通業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			
観 光 サービス業	10月～12月 実 績			
	1～3月 見 通 し			

景 気 天 気 図 の 説 明








大変良い 良い まあまあ 少し悪い 悪い 大変悪い